



新たな目標に向けた飛躍を

謹賀新年

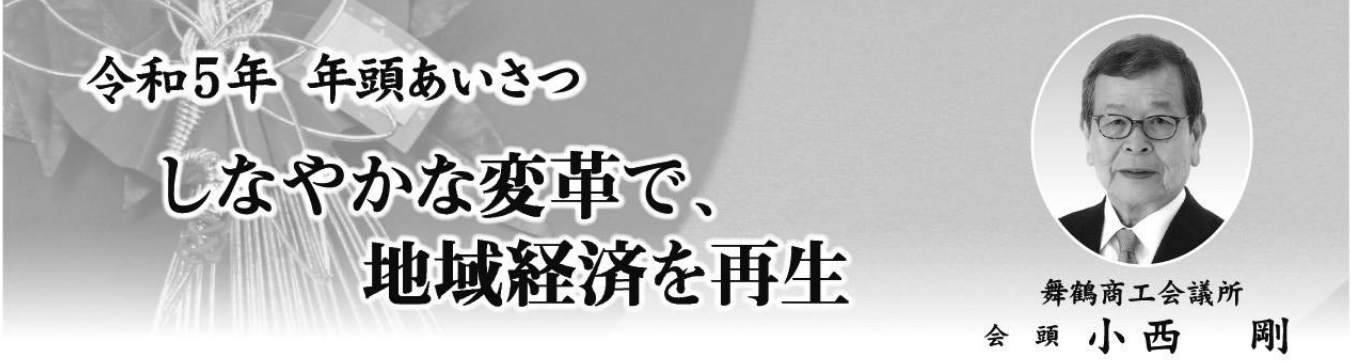
▲ “縁起干支盃” —— 写真中央の盃を「卯年生まれ」の方に贈呈

今年は「卯年」です

うさぎは穏やかで温厚な性質であることから、家内安全。そして、跳躍する様子から「飛躍」や「向上」の象徴とされています。また、今年は「癸卯^{みずのと}」で、「これまでの努力が花開き、実り始める」といった“縁起の良い年”でもあると言われています。近年の日本経済は、予測が困難である様々な課題に直面していますが、先行き不透明な時代だからこそ、あらゆる課題に柔軟に対応し、歩を進めましょう。

目次

新年のごあいさつ	2~7
舞鶴商工会議所 会頭	
日本商工会議所 会頭	
舞鶴市長	
京都府知事	
舞鶴商工会議所 役員、議員、顧問	
部会長、委員長、青年部、女性会	
「春のまいづる就職フェア」事業所募集	8
「3部会合同研修会」を開催	
“まいづるグルメクーポン2022”結果報告	9
中小企業関係定例表彰（北京都車検センター）	
インフォメーション	10



令和5年 年頭あいさつ

しなやかな変革で、 地域経済を再生



舞鶴商工会議所
会 頭 小 西 剛

あけましておめでとうございます。

皆様には、令和5年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。この新しい年が舞鶴にとりまして、また、皆様にとりまして良き年になりますことをご祈念申し上げます。

昨年11月、私は舞鶴商工会議所第34期の会頭に再々任いただき、3期目を務めさせていただくことになりました。皆様方におかれましては、引き続きよろしくお願いいたします。

昨年の地域経済を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済活動への影響が長期化し、収束の見通しが立たない状況が続きました。そのような中、ロシアのウクライナ侵攻など国際紛争の影響等による燃料・原材料の高騰、また、急速な円安や物価上昇に見舞われたことにより、事業所の収益はますます悪化し、依然として地域経済にとっては、出口の見えない厳しい状況が続いた年でありました。社会生活は、秋以降、様々なコロナ対策の緩和等により、少しずつ回復が進む一方、地域経済と事業経営については、依然として厳しい環境にさらされているところであります。

昨年8月、舞鶴商工会議所は、舞鶴市や京都府に対し、産業政策に関する政策提言を行いました。提言では、鎮守府開庁以来120年を超える歴史をもち、日本海側で屈指の大型造船所をもつ舞鶴は国防と海の安全を担う重要拠点であることから、自衛隊艦艇や海上保安庁巡視船の保守・修繕、洋上風力発電設備の建造など、造船の技術とインフラを活かした「新たな海のものづくり産業」への展開について提案しています。

また、エネルギー産業に関して、本市の基幹産業である電力産業との連携をふまえた次世代エネルギー分野の

産業集積、さらには脱炭素関連の企業誘致など、次世代エネルギーの拠点化について提案をしています。

今回の提言は、100年先をも展望したものであり、この方向性を確かなものにするためには地域が一つにまとまり将来像を共有し、国等に対し声を上げ、想いを届けることが重要であると考えておりますので、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、このところ、「リスクリング」いわゆる「学び直し」という言葉が、メディアに多く登場するようになったと感じています。

中小企業の強みは、変化、変革のしやすさであり、「リスクリング」いわゆる「学び直し」によって、この強みを最大限生かして成長することが重要であります。

私は、事業者が抱える課題は大きく2つあるものと考えています。ひとつは、経営者の高齢化などによる廃業など、事業継続の問題。もうひとつは、大企業と比べて低いといわれる生産性です。

生産性を向上させるために、時代の変化やトレンド、地域の状況や課題などを敏感に読み取りながら、たゆまない努力と工夫を続ける中で、しなやかに変革することが求められています。

「個人、事業所、そして舞鶴全体が、しなやかに変革し続ける」。

このような努力を、舞鶴のまちが一体となって、総がかりで行っていくことが、次の世代にこの舞鶴の街を引き継ぎ、この先も国を支える地方都市として生き残るための処方箋になるのではないかと考えております。

皆様とともに、しなやかに、そして、したたかに地域経済の自己変革、地域産業のリスクリングに取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

舞鶴商工会議所は、引き続き、舞鶴市当局をはじめ、国・府や関係機関、諸団体との強固で密接な連携のもと、英知を結集するとともに、組織を挙げて諸課題に果敢に取り組んでまいります。皆様の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。



2023年 小林会頭・年頭所感

「日本再生・変革に挑む

～志を高く、新しい時代を切り拓く～」

日本商工会議所
会頭 小林 健

明けましておめでとうございます。
2023年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

はじめに

私は、昨年11月の会頭就任時に「日本再生・変革に挑む」とした所信を表明し、「変革の連鎖」によって日本再生を成し遂げるために全身全霊を傾けることを会員の皆さまに誓いました。また、その後、全国各ブロックの商工会議所の皆さまや都内の中小企業経営者と対話する機会を得て、「現場主義」と「双方向主義」を継承・徹底させていかなければならないとの思いを新たにしました。われわれ商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまの声を適切に政策提言や事業活動に生かしつつ、地域経済、日本経済の発展のために力を尽くしてまいります。

当事者意識を持ち自己変革を

さて、わが国は、過去20年以上にわたり物価、賃金、生産性がほぼ横ばいという停滞が続き、先進諸国に比して相対的に競争力は低下しています。さらに、昨年、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、世界的なインフレなど、大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いています。

本年は、こうした大きな環境変化に対応しつつ、人口減少や少子高齢化、社会保障費の拡大、財政赤字、人手不足、エネルギー問題、さらには加速するデジタル化やグローバル化への対応などの構造的課題にわが国が正面から取り組み、成長軌道に戻していくための重要な年になると認識しています。足元では、複合的な要因による物価上昇・円安の影響で中小企業は厳しい状況に置かれていますが、われわれ、企業が成長の原動力であるという当事者意識を持ち、現実を直視し、果敢に自己変革に挑まなければ、この時代を生き抜くことはできません。今こそ、渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、企業経営者が積極的に行動を起こしていかなければなりません。

私は、経営者の責務は、経済価値、社会価値、環境価値の三つを同時に追求すること、即ち社会に責任を持ち、貢献することだと考えています。中小企業は、変化に対する柔軟な対応力を有しており、経営者と現場の距離も近く、経営者の理念を共有しやすい土壌があります。中小企業こそが自己変革と地域貢献・社会貢献の主役であり、日商の会頭として、私が先頭に立って自己変革に挑戦する中小企

業のイノベーション創出と付加価値向上を通じた成長を支援、大企業と中小企業が共存共栄できる社会を目指していきたいと考えております。

企業の挑戦を支える環境整備を

一方、政府の重要な役割は、企業の挑戦を支えるための環境整備にあります。特に「民間投資の強力な推進」「持続的に賃上げできる環境整備」「サプライチェーンの強靱化と経済安全保障」「多様な人材が活躍できる国づくり」の四つの対応を政府には求めたいと思います。資源を持たないわが国が持続的に成長するためには、競争力のある「科学技術創造立国」としての地位の確立を目指し、成長のエンジンとなる新たな産業分野へ投資を強力に促進していくことが不可欠です。そのためにも、政府は、新しい資本主義の重点投資4分野における官民の適切な役割分担、リスクシェアリングを図り、企業の成長期待を高めるとともに、十分な規模の政府支出、税制、民間投資を促す大胆な規制改革に取り組んでいただきたいと思います。

エネルギーに関しては、安定供給の確保とともに、2050年カーボンニュートラル実現に向け、GXの活用や原子力を含むエネルギー政策を政府が前面に立って推進することが求められます。さらに、中小企業が賃上げできる環境整備に向けて、取引価格の適正化、デジタル化の推進等、生産性向上への支援強化が必要です。生産拠点の国内回帰を含め、多様化する供給網の整備も急務であり、企業の予見性を高め、自由な経済活動を阻害しない経済安全保障に取り組むべきであると考えます。

志を高く、新時代を切り拓く商工会議所に

商工会議所としては、地域の第一線で活躍する会員企業の皆さまと共に、こうした課題や変化をタイムリーに察知し、商工会議所自らも変化に対応できる強い足腰を鍛え、「中小企業のイノベーション創出・成長支援」「大企業と中小企業の共生共存の実現」「人と企業が輝く地域の創造」の3本柱の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年、日本商工会議所は100周年を迎えました。次の100年に向けて、本年が、「日本再生・変革に挑む」ための力強い一歩を踏み出す年となるよう、スピード感をもって実行していく組織、志を高く、新しい時代を切り拓いていく組織を目指してまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

2023年 市長新年あいさつ “100年後も元気なまちへ、 5つの視点で 地方分散型社会の実現を”



舞鶴市長
多々見 良三

新年おめでとうございます。

皆さまにおかれましては、幸多き初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

未だ続く新型コロナウイルス感染症の影響に、感染を防ぎながら日常生活、社会活動、経済活動を続けていくため、ワクチン接種や3密の回避など、感染予防、拡大防止対策にご理解、ご協力をいただいておりますことに対しまして心から感謝申し上げます。

このような状況の中で、昨年は3年ぶりに赤れんがハーフマラソンのリアル開催や地域行事の再開、学校生活においても宿泊を伴う修学旅行の実施など、感染対策をしながら少しずつ日常を取り戻してまいりました。

赤れんがパークでは、Park-PFI 制度を活用した民間活力による運営が開始され、西地域では港周辺とまちなかをつないでまちの活性化を進める「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」が登録されました。

また、昨年は大浦地域と加佐地域に活性化センターを開設、地域と一体となって魅力ある地域づくりを推進したほか、舞鶴市文化親善大使の田中彩子さん、エル・システムジャパン、舞鶴子どもコーラスと「音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくり」協定を締結するなど、幅広い世代が心豊かに暮らせるまちづくりを進めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活や経済活動に必要な物資の安定供給、サプライチェーンリスク

が懸念される中、都会と比較して3密を回避しやすく、食料、エネルギー等を創出できる地方都市の強みを生かし、東京一極集中から脱却し、大都市と地方都市が共存する地方分散型の社会を実現することが極めて重要であるとの認識が広がっています。

これまで「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らしの実現」によって、地域が有する機能、魅力を磨き上げ、多様な連携を生かすことで、地域が活性化する、持続可能な地方都市圏を構築することができることを全国に示したい、本市のまちづくりを地方分散型社会のモデル都市にしたいとの思いで数々の施策を進めてまいりました。

こうした中、本年は市制施行から80周年を迎えるとともに、第7次総合計画後期実行計画がスタートする節目の年です。

この地域が50年後、100年後も国にとって重要な地域であり続け、市民の皆さまが誇りを持って住み続けられるまちづくりには、現状をしっかりと把握する中で、将来のあるべき姿を明確に示し、その実現のために、今何をすべきかを考え、実践していく必要があります。

そのためにも、これから求められる「デジタルトランスフォーメーションの推進」、「グリーントランスフォーメーションによる地域経済の振興」、「地域コミュニティの活性化」、「少子化対策の推進」、「感染症対策」の5つの視点が重要です。この5つの視点をしっかりと取り入れ、これまで取り組んでまいりました「心豊かに暮らせるまちづくり」、「安心のまちづくり」、「活力あるまちづくり」の3つのまちづくりの取り組み成果を最大限に生かし、未来起点のバックキャスト型のまちづくりを進めてまいりますので、本年も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民の皆さまのますますのご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさついたします。



知事年頭のごあいさつ

「あたたかい

京都づくり」へ邁進

京都府知事
西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナとの闘いも3年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年は新型コロナの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を1年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和5年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えると人は言うが、実際は自分で変えねばならない～ They always say that time changes things, but you actually have to change them yourself～」これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年3月、いよいよ文化庁が京都で

業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもたらすかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起こしたいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

今年は卯年です。その愛らしい姿と温厚な性質で「家内安全」を、跳躍する姿で「飛躍」を象徴するウサギの年にふさわしく、皆さまと共に「あたたかい京都づくり」へ邁進してまいります。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



謹んで新年のごあいさつを申し上げます

役員・議員・顧問(順不同・敬称略)

【会 頭】

小西 剛 小西商事(株)

【副会頭】

今安 茂也 (株)イマヤス
一盛 広樹 日本海警備保障(株)
芦生 達夫 日本通運(株)舞鶴支店

【専務理事】

小谷 裕司

【監 事】

塩見 邦夫 (株)シオミ
並河 史昭 (株)京都銀行東舞鶴支店
川端 隆一 公認会計士川端隆一事務所

【常議員】

嵯峨根仁史 弥栄電設工業(株)
櫻木 博 (株)アルスタ
志摩 敏樹 志摩機械(株)
植本 浩明 上杉教育機器(株)
佐古田政彰 (株)佐古田電機
田中 信男 舞鶴水産流通(協)
宮本 修吾 (株)エヌエスケイ
高井 盛作 (株)コザイ印刷所
坂根 功一 (株)坂根工務店
安原 良一 京栄電材(株)
田中 正明 (株)田中製作所
江守鍊太郎 江守石油(株)
北野 裕介 日立造船(株)舞鶴工場
久下 幸典 (有)幾久鶴
土井 博司 土井油糧(株)
西村 直紘 (株)西村住建商事
藤原 英樹 (株)藤善
久保 勝 舞鶴倉庫(株)

波多野雅則 ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場
才田 幸久 関西電力送配電(株)舞鶴事業所
野邊 修邦 日本板硝子(株)舞鶴事業所
可部 健治 ジャパンマリンユナイテッド(株)舞鶴事業所
村上 幸男 京都北部信用金庫舞鶴中央支店
松尾 信一 京都府漁業(協)
吉岡 努 新日本海フェリー(株)舞鶴支店

【議 員】

柴田 勝功 (株)上野総合保険センター
廣瀬 久哲 HRS総合研究所
北川 嘉嗣 (株)エール
大滝 雄介 (株)大滝工務店
齋藤 友幸 (株)霞月
川上 英明 (株)カワカミハウジング
河田 友宏 河田産業(株)
松村 尚志 KANSAI税理士法人
安原真智子 (株)京栄電工
仲野 東 京都府信用漁業協同組合(連)
西山 裕樹 (一社)京都舞鶴港振興会
谷川 眞司 (株)共和堂
林 哲生 キリンビバレッジ(株)近畿圏支社京滋営業部
三輪 正和 三和工業用品(株)
柿野 剛清 (株)田中工務店
岸田 哲弥 田中産業(株)
中田 芳邦 (株)中田アルナ
西村寿美子 (株)西村紙油商事
辻原 健二 (株)ニューオーサカホテルエンタープライズ
田中 久晶 (株)パシフィックウエーブ
浅野 泰雄 (株)フクヤ
細井 正敏 細井工業(株)
多田 佳史 (株)舞鶴浄美社
尾鳥 潔 舞鶴流通産業(株)
眞下 英夫 (株)ましも
伊庭 八郎 丸二金物(有)

元木専太郎 (株)モトキ
小谷 友子 (株)山下金物店
吉田 洋平 吉田工業(株)
松本 芳弘 (株)アート
森 道明 アクサ生命保険(株)福知山営業所舞鶴分室
波多野達也 飯野港運(株)
上原 正夫 上原正夫税理士事務所
志摩幹一郎 (株)ウッディーハウス
友成 竜治 御台所セバル
吉永 豊一 (株)京都インクス舞鶴本店
鍋師 重則 (株)京綾貨物輸送
小山 剛 (株)こやま
尾関 善之 タイヨー電化
竹田 喜芳 タケダ工芸(株)
久富 慶亮 鶴美建設(株)
林 博之 (有)ハヤシスポーツ
松井 恭子 (株)東舞鶴グランドホテル
西 寛 (株)平和熔工所
堀口 宏之 (株)ホリグチ
辻 義雄 舞鶴かまほこ(協)
藤元 達雄 舞鶴さかなセンター(協)
松本 泰 (株)舞鶴市民新聞社
三方 圭一 (株)舞鶴ホンダ
福長 尚斉 (株)丸福産業
江波 明 (株)エナミ精機

【名誉議員】

田中 康弘 元副会頭

【顧 問】

多々見良三 舞鶴市長
鯛 慶一 舞鶴市議会議長
池田 正義 京都府議会議員
小原 舞 京都府議会議員

〔部会長〕

機械金属部会

田中正明

難問を多く抱える機械金属業界は、地域産業としての在り方が変わりつつあります。部会員の知恵で、共に飛躍出来る卯年を目指し、地域企業の維持発展に取り組みます。

建設部会

坂根功一

本年は卯年です。「寅は千里を走り、卯は跳ねる」の格言通り経済が上向くことを願い、建設部会の運営に取り組んでまいります。会員の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

製造部会

小山剛

外国人の受入れが進む政策の中、コロナの拡大も地域経済の活性化が優先されているのが現状ですが、このような状況下でも、しっかり前へと進むべく行動してまいります。

商業部会

久下幸典

市外から外貨を稼ぐ「ネットショップ勉強会」の継続。そして大谷翔平選手が使っていた「目標達成シート」の勉強会など、積極的な事業で商業部会を盛り上げていきます。

情報サービス部会

松本泰

各種勉強会の開催等を通して部会員の皆様と共に励み、舞鶴の発展につなげていけるよう取り組んでまいります。よろしくお願い致します。

交通運輸・港湾部会

久保勝

急激な円安によるエネルギー等、原材料価格の高騰が続き、経営環境は厳しさを増しております。会員事業者の声を伝え、皆様と共に地域経済の発展に努めてまいります。

食料品・水産部会

田中信男

今年は卯年です。「うさぎの上り坂」のような一年にする為に多角的な観点から考え精進し水産業界を盛り上げていく所存です。本年もよろしくお願い致します。

金融・理財部会

村上幸男

私たちは地域の事業者様と連携を深め、地域経済の活性化、持続可能で活力あるまちづくりのお手伝いをしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

料理飲食部会

松井恭子

近年はコロナ禍で日本全体が混乱し、ようやく経済が回復傾向になりつつありますが、物価高に頭を悩ませながら環境の変化に対応できるよう前向きに取り組めます。

環境サービス部会

福長尚齊

本年こそ明るい話題の多い実り多き年となります事を祈念し、明るい部会活動に努めてまいります。会員の皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

〔委員長〕

総務委員会

嵯峨根仁史

卯の干支の特徴は、その跳躍力から「飛躍」と「向上」です。新年を迎え、新たな気持ちで低迷する地域経済に英知を絞り、明るい希望に満ちた社会に導いて行きましょう。

政策提言委員会

植本浩明

昨年、まとめあげた提言書の内容を多くの方々に理解してもらうとともに、その具現化に向けて活動していきます。皆様のご協力のほどよろしくお願い致します。

産業振興委員会

田中正明

ここ数年、大きく変わった業界・厳しい業界もありますが、地域産業が再出発する機会でもあります。笑顔で働ける舞鶴を創るべく、産業振興に取り組んでまいります。

観光振興委員会

高井盛作

Withコロナの時代にこそ、地域内観光を重点として地元の新たな魅力を創出し、ステップアップした観光需要に繋げていきたいと願っております。皆様のご協力をお願い致します。

自衛隊委員会

安原良一

本市は、国防と海の安全を担う重要地域であり、自衛隊との共存なくして市の発展はありません。自衛隊との良き関係を維持・発展させ、地域経済の活性化に取り組みます。

会員サービス委員会

久下幸典

従業員さんへの感謝と今後の期待を込めて「永年勤続優良従業員表彰」をご活用ください。他にも会員の皆様にお役に立てるサービスを検討してまいります。

青年部

上野晋

旧年中は青年部の活動にご理解、ご協力頂きましたことを厚く御礼申し上げます。新年も地域社会の発展に寄与して、皆様の笑顔が溢れる未来に向かって活動してまいります。

女性会

松井恭子

女性会は「百年産業」の構築に向けた取り組みとして、女性ならではの視点と柔軟性により、地域経済の発展に寄与する活動を行ってまいります。会員維持と増強に努力します。

春のまいづる就職フェア ～参加事業所を募集します～

1月12日から受付開始

春のまいづる就職フェアを3月11日(土)に開催するにあたり、参加事業所の募集を1月12日(木)から開始します。

新たな人材の雇用につなげる機会として、ぜひ、ご参加ください。

説明会には、一般求職者や今年3月卒業予定者、UIターン就職希望者などが来場される予定です。

なお、申込方法などは次のとおりです。

開催日時と場所等について

日 時 3月11日(土) 午後1時～3時30分

場 所 舞鶴市商工観光センター4、5階

内 容 来場者が自由に事業所ブースを訪問して、事業所担当者との面談を行います。

※新型コロナの流行状況により、中止もしくは延期の場合もあります。

○問い合わせ 舞鶴市産業創造・雇用促進課 (Tel 66-1021)

募集事業所数と申込方法等について

募 集 数 50事業所(先着順) ※参加要件あり

募集期間 1月12日(木) 午前9時～20日(金) 午後5時

申込方法 ①右のQRコードからアクセスし
申し込む。



◀申し込み用
QRコード

②インターネットでの申し込みが困難な場合は、事前に舞鶴市産業創造雇用促進課 (Tel 66-1021) までご連絡ください。



企業ブースで説明を受ける就職希望者(昨年度の様子)

環境サービス・機械金属・製造部会 3部会合同研修会を開催 ～インボイス制度について学ぶ～

環境サービス部会(部会長: 福長尚斉(株)丸福産業代表取締役)、機械金属部会(部会長: 田中正明(株)田中製作所代表取締役社長)、製造部会(部会長: 小山剛

(株)こやま代表取締役)の3つの部会が合同で、12月19日に舞鶴商工会議所に於いて、今年10月1日に義務化される“適格請求書等保存方式(インボイス制度)”の研修会を開催し、25人が参加しました。

講師に舞鶴税務署法人課税部門統括国税調査官の辻中利行氏をお招きし、インボイス制度の概要や売り手と買い手の留意点などを学びました。

辻中氏は、「インボイス制度の開始後は、免税事業者など、適格請求書発行事業者以外の者から行った課税仕入れは、原則として仕入税額控除の適用を受けることができない」など、制度開始後の注意点を分かりやすく解説されました。

今回の研修会は、参加者がインボイス制度について理解を深める貴重な機会となりました。



インボイス制度について学ぶ(12月19日: 舞鶴商工会議所)

セミナーのご案内

経営安定セミナー

販促アイデアを
ザクザク生み出す発想法

この講座では、様々な商品やサービスがあふれるなか、お客様の興味を惹き、自社の商品・サービスを選んでもらうための販促方法を学びます。

ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時 2月7日(火) 午後1時30分～3時30分

場所 舞鶴商工会議所

定員 20人(先着順) **受講料** 無料

内容 ●あなたの販促方法にお客様は飽きている
●ついやってみたくなる体験が決め手
●販促アイデアをザクザク生み出す方法

締め切り 1月31日(火)

【申込方法】

所定の申込書に必要事項を記入し、
Fax (62-4933) か直接窓口でお申し
込みください。舞鶴商工会議所ホー
ムページまたはQRコードからも可能。



申し込み用
QRコード

○問い合わせ 舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600)

多くの皆さまにご利用いただきました
「まいづるグルメクーポン2022」

新型コロナウイルス感染防止対策に積極的に取り組んでいる認証飲食店を応援し、消費喚起と地域経済の活性化を目的として実施したグルメクーポン事業が10月31日に終了しました。舞鶴市内の

飲食店で京都府の新型コロナウイルス感染防止対策認証店のうち、190店舗が参加し、129,398千円の利用がありました。事業の結果は、次のとおりです。

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 1. 名称 | 安全・安心な認証店で使おう！ まいづるグルメクーポン2022 |
| 2. 実施期間 | 令和4年7月1日(金)～10月31日(月) |
| 3. 販売総額 | 1億3千万円(プレミアム率30%) |
| 4. 販売セット数 | 1万セット |
| 5. 販売単位 | 1セット額面13,000円を10,000円で販売 ※7月6日完売 |
| 6. 換金額 | 129,398千円(換金率99.54%) |

京都府中小企業関係定例表彰

協業組合北京都車検センターが受彰

令和4年度の「京都府中小企業関係定例表彰」が昨年11月25日に行われ、優良組合の表彰区分で、協業組合北京都車検センター(理事長：迫田充弘氏)が選ばれました。

今回の受彰は、組合名義で保有している整備工場において、組合員単独で受注することができない案件を

協業事業として実施することで、組合員の売上維持、経営安定に寄与している点や舞鶴自動車整備協議会が行うマイカー点検に係る催事等に参加するなど、高齢化が進む地域において、安心して車に乗ることができ環境づくりに大きく貢献している点が評価されたものです。

受彰おめでとうございます。

INFORMATION インフォメーション

優良従業員表彰式 推薦は1月13日まで受け付け

「第69回優良従業員表彰式」の被表彰者の推薦を受け付けています。お申し込みは、舞鶴商工会議所の窓口で負担金を添えてお願いします。

日 時 **令和5年2月22日(水)** 午前10時～11時

場 所 舞鶴商工会議所 ホール

表彰基準 会員事業所で次の要件を満たす人

- 1) 勤続30年、20年以上全力を尽くし職務に取り組み、事業所の発展に大きく貢献した人
- 2) 勤続10年、5年以上誠実に職務に努め、他の従業員の模範となる人

被表彰者区分および
事業所負担金

表彰区分	30年以上	20年以上	10年以上	5年以上
負担金額 (税込み)	8,000円	6,500円	4,500円	4,500円

表彰方法 会頭が表彰状と記念品を授与します

締切日 1月13日(金)

問い合わせ 舞鶴商工会議所 Tel 62-4600

令和4(2022)年度 検定試験の日程 〈会場は舞鶴商工会議所〉

当面の検定試験スケジュールは次のとおりです。新型コロナウイルス感染症の状況によって、内容の変更または中止する場合があります。なお、中止の場合は、舞鶴商工会議所のホームページでお知らせします。



[簿記]

施行回数	試 験 日	窓口申込期間	ネット申込期間	級
第163回	2023年2月26日(日)	1/10(火)～1/30(月)	1/10(火)～1/27(金)	2・3
受験料 2級 4,720円 3級 2,850円				

※日商簿記検定の申し込みは舞鶴商工会議所へどうぞ

企業を育て地域を伸ばす
商工会議所

中小企業 相談所の ご案内

相談無料 秘密厳守

- 金 融 …… 運転資金・設備資金を借りたいとき
- 税 務 …… 税金の計算や青色申告をしたいとき
- 経 理 …… 帳簿のつけ方がわからないとき
- 経 営 …… 経営診断・店舗診断・市場調査など
- 労 働 …… 労働法規・労働保険・社会保険・従業員問題などについて知りたいとき
- その他 …… 創業・事業承継・IT・法律特許・取引の照会など

ご相談は…いつでも何でもどんな時でも、窓口相談・電話相談・集合相談・現地相談

舞鶴商工会議所 Tel 62-4600

お気軽に
ご利用ください